



富沢さんの長ネギ



長ネギは土をかぶせるほど長く育ちます。専用の管理機という機械を使ってこまめに土寄せをすることで、最終的には一番下から先まで1メートル以上になります。



おかげさま農場のメンバーからも「あの品質は富沢さんじゃないと作れないよ」と言われる長ネギ。風にも負けず、寒さに耐え、健康に、そして甘く美味しく育っています。

長ネギの生産者は良太さんと持ち回りで出荷していきます。

おかげさま農場は「食は命」をテーマにしています。化学合成農薬や化学肥料を使わないことを基本としています。

★「知識×技術×手間」の職人仕事

寒い季節には、体を温めて食欲も増進する長ネギは重宝します。そんな長ネギは、数ある野菜の中で種まきから出荷までの間が約1年と、手間も時間もかかる作物です。例えば今出荷されているのは、去年の2月中旬に種を蒔いた長ネギなのです。

他のメンバーからその技術の高さで一目置かれる富沢さんは、必要と判断した手間は大変であろうとかけていきます。

まず、数年に1回は完全に腐食になった堆肥を入れ、また牧草を育て土を整えます。その上で元肥にミネラルや有機質肥料を入れることで元気に育つ環境を整えます。

また、長ネギの栽培は太く長く身がしまったものに出来るかが腕の見せ所。富沢さんは梅雨明け後から10月上旬まで、1週間～10日に1回水を撒き、また約20日に1回のペースで追肥と土上げをします。

「肥料が多すぎると病害虫が出るし、肥料が切れると老化に向かってしまう。夏に地温が上がっても生育に影響する。だから手間がかかっても、同じ状態がずっと続くよう、こまめに追肥や水をやった方が良いんだよ。基本が出来ての応用だよ」と言うものの、まさに「言うは易く行うは難し」です。

自分が何が出来ていて、足りないところはどこかを認識し毎年技術を上げ続けている富沢さん。そんな富沢さんの長ネギは、今年も元気に美味しく育っています。

【産地情報】

◎おかげさま農場のホームページ「<http://www.okagesam.info>」には、最新の産地情報や、この「おかげさま通信」のデータもアップしています。是非、ご活用下さい。